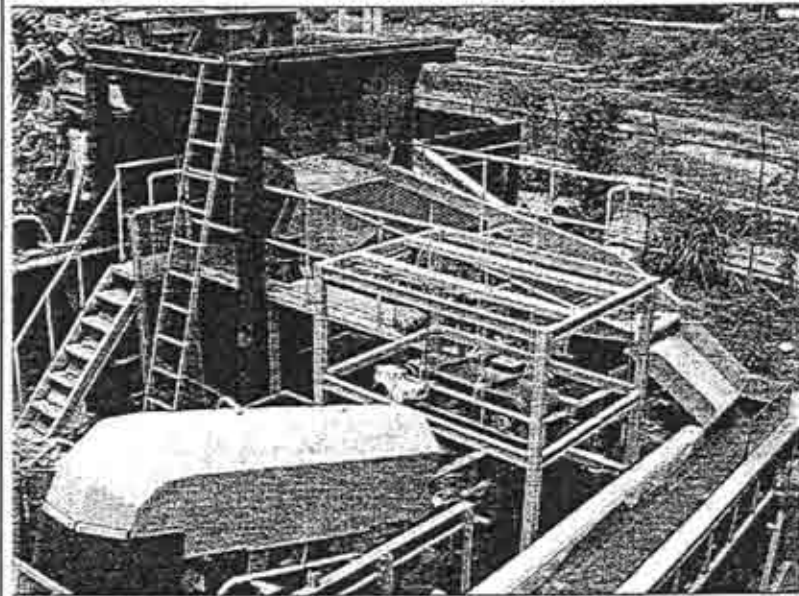


# 新しい商品、新しいマーケットを求めて 東北大陸は燃えている

## がんばれ東北大陸第4弾!



大越工業株のキロダスト資源選別回収装置

東北資源(東北六県再生資源組合連合会)独自の教育研修事業である研修委員会の今年度のテーマは「新しい商品、新しいマーケット」というもので、研修委員会が各県もちまわりで開催され、さらに理事会承認のもとに六回にわたる現地視察旅行を企画し、研修委員のみならず一般組合員をふくめて実に九十八社が現地視察に参加している。視察先は中国のリサイクル現場であり、そうした経験の中からリサイクルシフトとしての中国という新しいマーケットといわれる「雑品」という新しい商品を見出し、東北地区における中国シフトは昨年に数倍する各種商品の輸出をうながし業界経営という点では一定の成果をあげつつあるものと思われる。こうした一連のマーケティングとは形態は異なるが、明らかに新しい商品、新しいマーケットを意識した優れた試みも行われている。そうした試みのいくつかを紹介し、諸兄の経営戦略の一助としたい。

### 事例-その1 大越工業が独自に「キロチンダスト資源選別回収装置」を開発

—これはすごい!—ノーベル賞もの—

福島県須賀川市横山町工業団地にスクラップヤードをかまえる大越工業株(大越重工業)は、三年半の月日をかけてキロチンダストから金属資源を選別回収する画期的な装置を開発した。同社で開発を担当した駒形成美常務は同社の広報誌「スクラップ・オン・デマンド・マーケット・レポート」の中で開発に至る経緯とシステムの特徴について次のように述べている。

「キロダスト資源選別回収装置の開発計画から三年半、大手メーカー各社による高額な選別装置や果実の自動サイズ選別装置、砂利の粒度調整装置など、実際に稼働している現場を見たり、オペレーターの方々の意見を聞いたり日本中を走り回りました。どれもこれも常に短い価格に高しの状態を諦めかけていたときに、埼玉県で大型クラッシュャーなどを開発製造している中堅機械メーカーに出会い、それから一年、ようやく本機が完成しました。開発に際してのコンセプトは前処理選別を行わずにキロチンダストをそのまま重機で掘りこみ自動的に選別してシランプラントでそれを動かすための人材の増員は行わない。選別精度は九十九・一%。一年半で開発コストと製造コストを一〇〇%回収するという恐ろしい内容でした。」

「これはすごい!」ノーベル賞もの—

①大手メーカーの選別装置の価格帯(五〜六千万円)をはるかに下回る価格を実現(二千万円以下)

②市中部品を生かしてコストを削減

③九十九・一%まで有価物を回収。

④最終処分量を四十%削減

⑤時間十二トンのキロダスト選別処理可。(一週間に一回の稼働で十分)

⑥丈夫で頑丈。インバータ制御。

⑦緊急非常停止装置を四重に配備。

③低重心架台フレームの設計で最大地上高は三・八メートル。

④コンバクト設計で約三十坪以内にプラントを収容。大越社長は「業界のみならずのお役に立つのであれば当社の工場にきて是非見ていただきたい。又、購入を希望される方がいれば私どもと同じ価格で購入できるよ様にメーカーさんに紹介したい」と語っている。いずれにしてもこうしたプラントを独自に開発するということは驚くべきことだ。フレコンバックにチャリンチャリンと心地よい音で充填されていく選別された非鉄類はまさしく「新しい商品」といえるであろう。

■問い合わせ先 大越工業株式会社 福島県須賀川市横山町一四〇 電話〇二四八七六一〜二五五五 担当形まで。